

ここには日野市の小学生 5,6 年生が考える「平和」の一部が書いてあります。
「私はこれがあれば平和だと思う」「こういう状態が平和なんじゃないかな」
「たとえばこんな状態は平和じゃないと思う」
子ども達のみずみずしい視点から見た「平和」、皆さんは、どう思われますか？

- 戦争がないこと
- 核兵器がなくて戦争がないこと
- 武力でねじふせて物をうばったり、強制的に物事をやらせたり、権利をうばわないこと
- "戦争や差別、喧嘩、暴力などがなく、人や動物たちがみんな仲良く過ごすことができること
- 戦争がなくて、差別もない、誰もが安心して暮らせる世界
- 不公平のない世界
- みんなが笑って暮らせることとごはんを食べられること
- ごはんが食べれて、学校に行けること
- 居場所があって、食べるものがあって、家族がいて、笑顔で暮らせること
- やりたい事ができる 家族がいる 食事ができる 友達がいる 幸せに過ごせる 帰る家がある
- 事件や事故、自然災害、戦争などがなく人が寿命以外で亡くなる事が少ない事が平和だと思う
- 人どうし喧嘩をしないことが、ぼくにとって平和だと思います

- 今みたいな学校友達と一緒にいること 家族と一緒にいること
- 穏やかに生活できること、家族や友達がそばにいること
- 争いのない生活（日常）
- 何事もなく、家族と暮せて勉強ができるそういった毎日の私達が当たり前だと思っていることが日々平和に過ごせているということだと思う
- 家族がいて、友達がいて、おいしいごはんが食べられること
- おなか一杯になって布団で安心して眠れること
- 家族と友達と仲良くお話ししたり遊んだりすることきれいなけしきと空気が見れたりすること
- 毎日当たり前のように朝をおかえて毎日勉強ができる
- これから生きてゆく暮らしを安心・安全に生活して楽しく生きること
- 自由な発言や生活ができること
- 助け合う、喧嘩をしない、いじめをしない、一人ぼっちにしない
- 事故や病気がないこと、普通の暮らし、何事もないこと
- 朝起きて、ご飯食べて、ゲームして、ねる
- "みんなが戦争をしないどろぼうがない所金をぬすまないゴミがない町"
- 一人一人が、命の重さ、大切さを考えることができること"
- SDGs 達成を目指す。そして核兵器を使わないということを目指す人が明るい毎日を作る

- SDGs をちゃんとまもったりして日本とか外国とかの戦争をなくしたい
- SDGs の実現への貢献戦争についての理解をふかめる
- SDGs がぜんぶかなえられて戦争のない世界
- 弱者を大切にできる世界
- 身近な手の届く人に手助けの手を差し伸べることができること、差し伸べあえること
- 大切な人と、あたたかい心で食卓を囲めること
- 冷静で心に余裕のある人が多数派でいること
- 民族や国籍への偏見がないことによる恐怖を感じずに生活できること
- 理不尽に切り離されることなく、人間らしい生活が送れること
- 差別的なあつかいをされず「その人」として尊重されること
- 心理的安全性を確保しながら生きられること
- 海がきれいな世界
- 安全、安心に生活できること
- ごみがちゃんとゴミ箱に入っていること
- お布団にくるまって眠ること
- 今日と同じ明日がくること
- 差別がないこと

- ※ 下の図は、テキストマイニングという方法を使って日野市の 4000 人の「平和」を図にしたものです。
ワードクラウド（言葉の雲）といえます。
みんながよく話している単語、よく出てくる単語は、大きく表示されます。

